

事業番号	04 04 09	事業改善シート (26年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	医学生修学資金等貸与事業				担当課	部局	健康福祉部	
総合5か年計画	プロジェクト	4-4-3 健康づくり・医療充実プロジェクト			課・室	医療推進課医師確保対策室		
	施策の総合的展開	6-1 健康で長生きできる地域づくり			E-mail	doctor@pref.nagano.lg.jp		
		3 医療従事者の養成・確保			実施期間	H18 ~		

1 事業の概要

目指す姿	全国的な医師不足の中で、修学資金等の貸与を受けた医学生等が、将来知事が指定する県内の公立・公的医療機関等に勤務することにより医師不足の解消を図る。 成果目標:人口10万人当たり医療従事医師数 205人(H22) ⇒ 230人(H29)					
現状(予算編成時)	依然として県内の医療機関における医師不足が続く中で、中長期的に医師を確保し、県内の医師不足病院等への配置を行い、医師の絶対数の確保と地域偏在の解消を行う必要がある。					
県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)	【左記の説明、根拠法令等】 県内の医師不足の解消を目的として、医学部定員増を条件として県が実施することとされている。 長野県医学生修学資金貸与規程、長野県臨床研修医研修資金貸与規程、地域医療再生計画				
成果目標・事業内容	① 成果目標(H26)					
	新たに医学生に貸与を行い、貸与者総数を増やすことにより、将来知事が指定する県内の公立・公的医療機関等に勤務する医師を確保する。					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H26事業実績	H26 (当初)	H26 (決算)	H27 (当初)
	1. 医学生修学資金貸付金	直接	将来県内の医療機関の医師として勤務しようとする医学生に対し、修学資金を貸与 ・貸与月額20万円 ・貸与期間の1.5倍、知事が指定する県内の公立・公的医療機関等に勤務した場合に返還免除	292,800	270,000	307,200
	2. 臨床研修医研修資金貸付金	直接	産科、小児科を目指す臨床研修医に対して研修資金を貸与 ・貸与月額20万円 ・貸与期間の2倍、知事が指定する県内の公立・公的医療機関等に勤務した場合に返還免除	2,400	2,400	2,400
			合計	295,200	272,400	309,600

事業コスト	区分(単位:千円)	24年度	25年度	26年度	27年度
	前年度繰越				
	当初予算	254,400	290,400	295,200	309,600
	補正予算		-32,400		
	合計(A)	254,400	258,000	295,200	309,600
	一般財源	208,800	220,400	230,400	218,400
	県債				
	国庫支出金				
	その他	45,600	37,600	64,800	91,200
	決算額(B)	249,600	258,000	272,400	
概算職員数(人)	2.00	2.00	2.00	2.00	
概算人件費	16,516	16,516	16,516	16,516	
概算事業費(B(A)+C)	266,116	274,516	288,916	326,116	

成果目標の達成状況					
項目	H25末(実績)	H26			H27目標
		目標	成果	達成状況	
医学生修学資金等貸与者総数	112人	123人	116人	未達成	117人
義務年限履行者数	27人	40人	30人	未達成	37人

目標に対する成果の状況	貸与者総数は、H25新規貸与者数が募集定員を下回ったこと等により、義務年限履行者数は、医師国家試験の不合格者がいたこと等により目標を達成できなかった。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	引き続き事業を継続し、医師の絶対数の確保と地域・診療科の偏在の解消に取り組んでいく。